

スマートフォン、使用時間に制限を

1. 提案のきっかけ

気軽にみんなが情報発信をできるインターネットが普及したこの世の中で個人情報の大切さやその危険さをしっかりとみんなに教えたい。

(1)わたしたちの体験と、調べて分かったこと

- ・ゲームをクリアできないからとインターネット上に自分のアカウントコードを送ったらゲームのアカウントを乗っ取られた。
- ・少し悪ふざけをした投稿をただけで家に罵詈雑言の張り紙や親の仕事をするとともにまで誹謗中傷のメールが来た。
- ・知らない人から電話されるときがある。

(2)解決したい課題

インターネットが昔に比べて使いやすくなったため、日常的にインターネットを使う機会が増えています。だからこそ個人情報が流失しないように、どんな対策をとれるかをみんなにおしえたい。

2. 提案

具体的な提案内容

個人情報を守るためにもむやみに自分のことを喋ってはいけない。2026年、阪神電鉄はピカピカの車体について「当電車の車体と写真を撮る時は顔の映り込みなどに気をつけてください」と投稿をした。このようにSNSに投稿した写真の周りの風景だけで本人やその住所を特定したり瞳の映り込みでも身バレするケースも有る。このように個人情報とはほんの1つの行動で簡単にバレてしまうものなのだ。

具体的には、2つの解決策を提案します。

(1) まずは、自分から個人情報に関係するもの(住所や知っている小学校、近くの店)は言わない。先程も言ったがほんの一つの投稿で誘拐されることもあり得るから常に心の隅においてほしい。

(2) 2つ目は、怪しい広告などはクリックしないことだ。これは当たり前だが意外と重要で、トロイの木馬型ハッキング(一見すると無害で便利なソフトウェアやファイルを装ってユーザーを騙しデバイス内に侵入して悪意ある操作を行うサイバー攻撃手段)や、フィッシングメールなどが入っていてデータを盗まれてしまうことがある。そのため広告は基本的にクリックしないようにし、オンラインアンケートなどにも気をつけておこう。

効果

このような解決策を実践すれば自分の個人情報やPCのデータも盗まれにくくなるし、個人情報の危険に対する知識のつくネットの記事や啓発本を読めば常日頃から気をつけておくことができる。

3. まとめ

このように個人情報はバレないと高を括っていても意外と簡単にバレてしまうものだ。僕のやっているオンラインゲームでもフレンドになろうという人もいたりするが僕は小学生だし、トラブルに巻き込まれるのは御免なのでフレンド申請は拒否している。もしかしたら子供だと思っていたゲーム上の仲間が大人だったら、個人情報を盗んで誘拐してくる可能性だって捨てきれない。このように危険だからこそ、個人で気をつけることのできる場所は気をつけ、社会全体で警鐘を促していくことが大切だと言える。